

浅海定線調査結果（令和元年9月2日）

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

		令和元年9月	平年値との差 (平年値)	昨年9月との差 (昨年9月観測値)
水 温 (°C)	表層	25.8	－ 1.7 (27.5)	－ 2.0 (27.8)
	底層	26.2	－ 0.1 (26.3)	－ 1.2 (27.4)
塩 分 (PSU)	表層	28.16	－ 3.32 (31.48)	－ 4.16 (32.32)
	底層	31.26	－ 0.76 (32.02)	－ 1.10 (32.36)
透 明 度 (m)		4.2	－ 0.4 (4.6)	＋ 0.8 (3.4)

※ 観測値 : 周防灘 12 定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去 30 年分の同月平均値を表しています。

2. 概 況

(1) 水温

・ 表層はかなり低め、底層は平年並みでした。

(2) 塩分

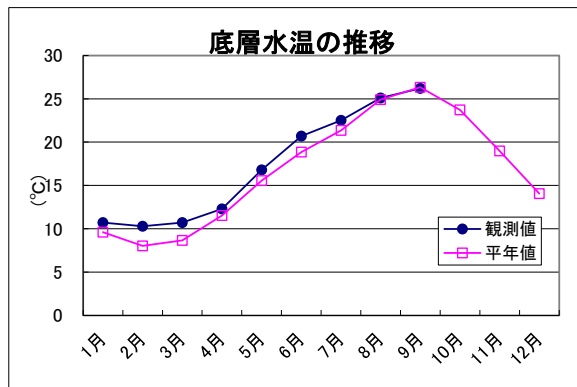
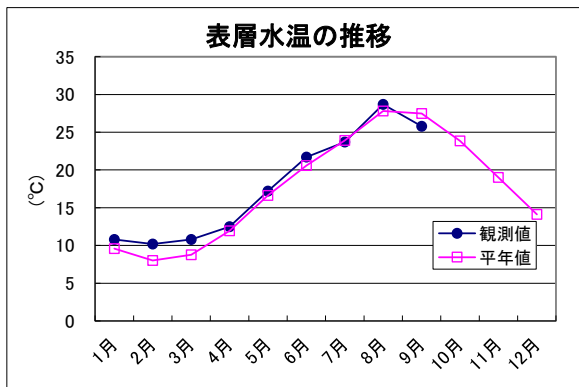
・ 表層は甚だ低め、底層はかなり低めでした。

(3) 透明度

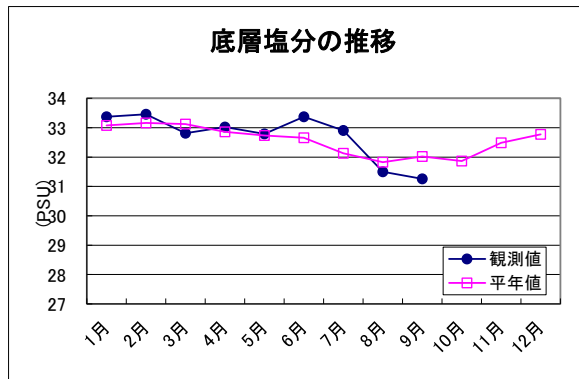
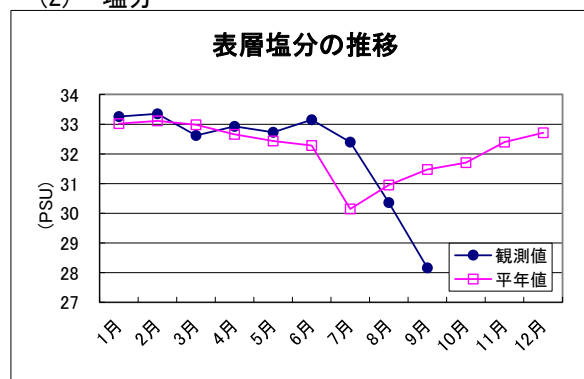
・ 透明度は平年並みでした。

調査結果（グラフ）

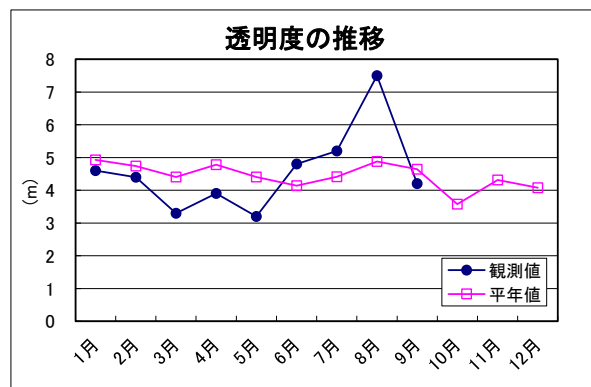
(1) 水温



(2) 塩分



(3) 透明度



3. その他

- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色は見られませんでした。
- ・ 一方、南部とその沖合の底層では酸素濃度の低下が確認されました。
- ・ 先月確認された有害プランクトンのカレンアミキモトイの増殖は終息しました。
- ・ 現在海域では大型の珪藻プランクトンのリゾソレニアやコシノディスカスが増えています。
- ・ これらは魚介類に直接被害は与えませんが、分解される際に酸素を消費し、貧酸素発生の原因となる可能性があります。
- ・ 北部の人工島周辺で漂流ゴミの集積が見られますので、ご注意下さい。